進捗報告書 （実行団体）

事業名:	コロナ感染リスクを減らす心肺蘇生法の普及
資金分配団体:	READYFOR株式会社
実行団体名:	一般社団法人ファストエイド
実施時期:	2020年12月～2021年11月
事業対象地域:	CPRTBシートの導入を検討している15の消防組織
事業対象者:	消防署で救命講習を受ける市民、およびその家族

Version 1.1

日付： 2021年5月15日

Ⅰ．事業概要

事業概要
ドイツの研究ではコロナ回復患者の78%に心臓の異常所見があった。感染者は血栓が生じやすく脳梗塞や心筋梗塞の発症リスク上昇の恐れがある。イタリアとフランスでコロナ感染を恐れ居合わせた市民のCPR（心肺蘇生）実施率と救命率が大幅に低下した。感染リスクを減らすCPR手法の普及が必要だが、消防では人形を消毒する消毒液不足から救命講習の開催が困難である。そこで柄団体のペットボトルと紙のシートを使いCPR訓練できる「CPRトレーニングボトル」の活用を15の消防が検討中である。しかしいずれも予算確保が難しく購入できずにいる。休眠預金で感染リスクを減らすCPR手法を記載したシートを製造し消防に無償提供したい。

Ⅱ．進捗報告の概要

総括
シートの配布先を消防のみならず自治体にも拡大することとしたため、シートとWebサイトの大幅な内容修正が必要となった。そのため全体の日程が遅れている。シートとWebサイトは6月に完成することを目指しており、心肺蘇生法の啓発活動が最も活発化する救急の日（9月9日）に向けてシートを提供できるように巻き返していきたい。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	**進捗状況**
・消防組織に50,000部のCPRTBシートを提供し、講習会を50,000人が受講する ・受講者がシートを持ち帰り家族にCPRのやり方を伝える ・受講者が救命共助アプリ「Coaido119」（無料）に利用者登録する	・コロナ感染拡大により消防も救命講習の開催が難しく、シートの提供先を自治体にも拡大し、自治体を通して学校や地域住民への配布も行いたい。シートの配布場所が講習だけでなく学校などそもそも講習を受ける場ではない場所も想定しなければならず、無関心層でも啓発できるような内容にCPRTBシートおよびWebサイトのコンテンツを変える必要があり、その内容の考案とデザイン制作に想定より時間がかかっており、まだ消防組織や自治体への提供はできていない。6月にはシートとWebサイトを完成させて提供できる状態を作りたい。

活動	**進捗状況**	**概要**
1：Webサイト改修、シートデザイン 2：各消防に希望部数を確認し、必要数を印刷し送付 3：JRC蘇生ガイドライン2020の内容を反映	遅延あり	上記の理由により１と２が遅れている。３については、JRC蘇生ガイドライン2020の内容を確認したところ、当初より想定していたコロナ感染リスクを減らす心肺蘇生の方法の案内を追加すること以外は、大きな変更はなかった。

Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
コロナ感染拡大により、密を避けるため救命講習の開催が難しい状況が続いている。コロナ感染者の救急搬送の際は感染対策で時間がかかることや、医療崩壊を起こしている地域では救急車の受け入れ病院がなかなか決まらないなど、消防の負担も増えており、救命講習の開催のために人的リソースを割くのも難しくなってきている。仮にコロナが落ち着いたとしても、超高齢化社会で救急搬送件数が年々増え続けており、消防職員の負担はこれからも増えていく。そうした中で心肺蘇生法を普及していくには、これまでとは全く異なるやり方が必要である。別の助成金に採択され心肺蘇生法の自主学習用の動画作成の予算が得られたため、その動画ができた際にはWebサイトに動画を置き、シートを配布された人が自主的に動画を見て心肺蘇生の訓練を行えるような流れを作りたいと考えている。心肺蘇生のやり方をたくさんの人に普及させるには、これまでのよう救命講習受講型から、自律学習型に切り替えていくことが必要であり、その自律学習の行動を起こさせるためにCPRTBシートを活用していくべきではないかと考えている。

Ⅴ．インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥2,041,000	¥4,338,200	¥6,379,200	¥2,175,000	34%
	管理的経費	¥373,600	¥747,200	¥1,120,800	¥487,000	43%
合計		¥2,414,600	¥5,085,400	¥7,500,000	¥2,662,000	35%

補足説明	特になし

Ⅵ. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
実際に消防の方々と電話でお話しし、シートが無償提供される場合であっても、救命講習でシートを配布するなど業務の中で使用するには組織としての意思決定が必要であり、どのような講習内容を行うかを総務省が定めていることもあり、現場の職員がCPRTBシートを高く評価してくれていても講習での配布が実現できないリスクがあることや、その意思決定をするのに時間がかかるリスクがあることが見えてきた。そこでシートの無償提供先を、消防よりもフレキシブルに意思決定ができると思われる自治体の危機管理課などにも拡大することの許可をいただいた。これにより、学校や地域住民にスムーズにシートを配布できるようにしていきたい。

Ⅶ. その他

自由記述
特になし

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

Ⅸ. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	